

目指す学校像	通いがいい・通わせが、働きがいがある学校 ○安心して、学ぶ喜びや友達と関わる楽しさが味わえる学校 ○保護者や地域から信頼される学校 ○健康で、ともに磨き合いながら成長できる学校
重点目標	1 「学びのポイント」(じしゃく)の視点に基づいた授業の推進 2 安心・安全な学校に向けた教育支援・教育相談体制の充実 3 コミュニティ・スクールとしての成長、進化に向けた理念、方策の共有と実行 4 一人ひとりが力を発揮し、誰もが居心地のよい(Well-Being)学校をつくる教職員研修の充実

※重点目標は4つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

学校自己評価							学校運営協議会による評価		
年度目標			年度評価				実施日 令和 年 月 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校運営協議会からの意見・要望・評価等	
1	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国学力・学習状況調査では国語・算数ともに全国平均と比べ良好な結果である。 ○スタディサプリ、ドリルパークを自主学習に活用し、個別の課題解決に向けて学期に1回以上相談することができている。 ○授業の中で伝え合う機会は複数回いれて実施することが定着した。学力調査の結果からも向上が認められる。 ○児童アンケート「授業が楽しく、わかりやすい」について肯定的評価が94%であった。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「話すこと・聞くこと」に関する力は向上してきているが、更に表現力を高めるためにも、「伝え合う活動」を意図的に学習の中に設ける必要がある。 ○教職員のアンケートから「主体的に学ぶこと」「協働し、試行錯誤すること」等に課題があると実感している教職員が多いことがわかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的に学びを進める指導の工夫 ・探究的に学びを深める指導の工夫 	<p>①「学びの指標」を踏まえた、学習者が主体的に学ぶ授業を実施する。</p> <p>②家庭学習の一環として、自主学習を奨励する。</p> <p>①「学びの指標」を踏まえた、学習者が探究的に学ぶ授業を実施する。</p> <p>②協働的な学び(伝え合う活動、根拠となる情報を正しく理解し表現する学習等)を効果的に取り入れた研究授業または公開授業を全教員が一人1回以上行い、指導法の工夫と効果について検証する。</p>	<p>①「学びの指標」における「主体的な学び」の項目の平均値が3.2以上(満点は4)</p> <p>②家庭学習に関する児童アンケートで「自主学習に取り組んだ」に肯定的な回答をする児童が8割以上。</p> <p>①「学びの指標」における「探究的な学び」の項目の平均値が3.2以上(満点は4)</p> <p>②全教員が一人1回以上の研究授業または公開授業を実施し、協働的な学びを効果的に取り入れた指導法について発表し、効果を検証する。</p>					
2	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケートの肯定的な回答が「いじめ防止」77%、「教育相談」84%であった。 ○児童アンケートの肯定的な回答が「あいさつ」90%、「掃除」94%、「廊下歩行」92%、「いじめをしないでなかよく生活」96%であった。 ○教職員アンケート「安全点検・点検後の処置」に関する肯定的回答は96%であった。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アンケートの結果を学年、学級に分けて分析して保護者・児童の否定的な考えの原因を明確にすることで、保護者・児童に個別最適な対応策が見えてくのではないかと。 ○小学生のスマートフォン所有率も高まり、SNSでの誹謗中傷等のいじめ防止のための取組を今後は強化していく必要があるのではないかと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめの早期発見・早期対応に関する組織的対応 ・安心・安全な学校生活に主体的に取り組む児童の育成 	<p>①スクールロイヤー等を講師とした、いじめ対応研修を実施する。</p> <p>②「心と生活のアンケート」「長期休業前アンケート」等において、実施、要面談児童との面談、報告、保護者との連携等、適切な対応を行う。</p> <p>③「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」を2学期末までに全学年で実施する。</p> <p>①毎月の教職員による施設設備の安全点検を確実に実施する。</p> <p>②心身ともに健康で、なかよく、思いやりをもって生活できるように、「あいさつ」「清掃」「廊下歩行」「なかよく」の指導を丁寧に行う。</p> <p>③子どもたちがなかよく過ごせるように、児童主体の活動に取り組む。</p>	<p>①スクールロイヤー等を講師とした、いじめ対応研修を実施したか。</p> <p>②保護者アンケートにおける肯定的回答が「いじめ対応」で77%以上、「教育相談」で84%以上。</p> <p>③「『いのちの支え合い』を学ぶ授業」を2学期末までに全学年で実施したか。</p> <p>①教職員アンケート「安全点検・点検後の処置」に関する肯定的回答が96%以上。</p> <p>②児童アンケートの肯定的回答が「あいさつ」90%以上、「掃除」94%以上、「廊下歩行」92%以上、「いじめをしないでなかよく生活」96%以上。</p> <p>③子どもたちがなかよく過ごせるような児童主体の活動に取り組んだか。</p>					
3	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○保護者アンケート「情報の伝達」に関する項目で肯定的評価が85%だった。 ○育成会や自治会、おやじの会と協働した行事(ビタゴラ工作教室、校庭花火開放、まつりプログラミング教室等)を実施した。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学校HPでの情報発信について「がくぶり」からリンクを貼ったお知らせをするなど、PTAと連携して保護者に見てもらえるよう工夫する。 ○創立50周年記念行事等を学校、保護者、地域が連携・協働して実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信への積極的な取組 ・創立50周年記念行事等の実施 	<p>①学校HPでの情報発信について「がくぶり」からリンクを貼ったお知らせをするなど、PTAと連携して保護者に見てもらえるよう工夫する。</p> <p>①学校、保護者、地域が連携・協働し、式典、記念行事、記念誌発行、記念品配付等、心に残る取組を行う。</p>	<p>①保護者アンケート「情報の発信」に関する項目の肯定的評価85%以上。</p> <p>①式典、記念行事(航空写真、バルーンリリース、ビタゴラ工作教室)、記念誌発行、記念品配付等を通して、心に残る取組ができたか。</p>					
4	<p>〈現状〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エバンジェリストを中心に、アプリの勉強会を毎月実施し、今、これから必要な知識・技能を広めることができた。 ○教職員同士の情報交換も日常的になり、全体のスキルアップに繋がっている。 ○教職員アンケート「ICTの効果的な活用が図られた授業を実施している」に肯定的回答が88%であった。 <p>〈課題〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ○スクール・ダッシュボードのデータの利活用を工夫していくことが課題である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりが力を発揮し、学校に集う誰もが居心地のよい(Well-Being)学校をつくる研修の実施 	<p>①「学びの指標」を踏まえた、ICTを効果的に活用したアナログとデジタルのハイブリッド授業を実施する。</p> <p>②スクール・ダッシュボード等の情報を活用し、児童の学習状況や実態を把握した指導案作成を全教員が一人1回以上行い、データの利活用の方法について研究する。</p> <p>③一人ひとりの教職員が、年間を通して取り組む研修目標を設定し、目標達成に向けた自己研修を実施する。</p>	<p>①「学びの指標」における「ICTの活用」の項目の平均値が3.2以上(満点は4)</p> <p>②スクール・ダッシュボード等の情報を活用した指導案作成を全教員が一人1回以上行い、校内研修で共有する。</p> <p>③全教職員が自らの研修目標に向けて取り組み、結果として目標を達成することができたか、面談で確認する。</p>					